



発行／浦安市
〒279-8501
千葉県浦安市猫実一丁目1番1号
☎ 047・351・1111（代表）
編集／市長公室広聴広報課
http://www.city.urayasu.chiba.jp

広報 うらやす

予算特集号

視点別の予算-----2・3
当初予算の概要-----4

平成19年度の当初予算は 772億3,240万円で スタート

この特集号では、平成19年度の市政運営の考え
や5つの視点に沿った主な事業、平成19年度の当初
予算の概要をお知らせします。

昨年の5月に園庭が芝生になった見明川幼稚園

市政運営の基本的な考え

松崎市長が、平成19年浦安市議会第1回
定例会の冒頭で述べた「施政方針」より

私は、昨年の10月22日の市長選挙におきまして、3期目の負託をいただきました。

3期目の4年間、浦安市の発展のため、さらに市民の皆さんにお約束しましたマニフェストを実現するため、決意を新たに、全力を傾注して頑張る所存です。

さて、私は今回の選挙にあたり、本市では初めてになるマニフェストを、自らの手で表し、「うらやすかれ！宣言2006」と題して、市民の大きな関心事である安全・安心なまちづくり、さらには危機管理を念頭に、3期目にあたった政策を市民の皆さんにお示しました。

このマニフェストをもとに、私は選挙を通じて、100回を超すミニ集会などで、市民の皆さんから直接ご意見やご要望を聴くとともに、議論を重ねてきました。

そのなかで、多くの方が浦安市に対して強烈とも思えるほどの愛着と郷土浦安への誇りとともに、これからも住み続けたいという「終の棲家」としての浦安市への熱く、強い思いを感じました。

これらの市民の皆さんの誇りや愛郷心に応えるためにも、私は地方分権の名のもとで激化する市町村間競争に勝ち残っていかねばならないと思っています。

現在の私たちの浦安市が、全国

の自治体のなかでどのような位置にあるのかを示す一つの指標として、日本経済新聞社と日経産業消費研究所による行政ランキングが、昨年の10月末に発表されました。行政革新度のランキングでは、5年前の104位、3年前の54位から47位へ、行政サービス度では前々回の24位、前回の3位から2位へとランクアップしました。

また、前回695だった市が、市町村合併により779市と大幅に調査対象が増えるなかで、私たちの浦安市は地方自治のトップランナーとしての地位を確実にしつつあるとの確信を深めました。

私は、年頭の御用始め式でも職員に対して「チャレンジャーからパイオニアへと意識を変え、先駆者としての自覚を強く持ち、地方自治を切り開くパイオニア足るべく一層の奮起」を促したところで

す。今年2007年問題、いわゆる団塊の世代が地域社会に戻り始める初年度に当たり、豊かな経験とノウハウを持つ有能な人材活用の正念場を迎えます。言い換えれば市民参加・市民協働の正念場であるとも言えます。

平成20年を初年度とする第2期基本計画の策定に向けて、本市で初めて、壮大な実験とも言える200名を超す市民会議が、昨年の

8月からスタートしました。現在、活発な議論が展開されていますが、本年9月に提出される予定の市民会議からの基本計画に対する提言書に大きな期待をしているところです。

近年、地方自治を取り巻く環境は、「ガバナンス」、「PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）」など新しい概念が生まれるなかで、「NPM（ニュー・パブリック・マネジメント）」として、効率性、競争原理などの経営意識が求められてきており、「PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）」、「指定管理者制度」、「市場化テスト」などの新しい制度も法整備のもとで進められています。

新しい時代の地方自治を考えるうえで、市場原理と効率性重視のアメリカ型のNPMに対して、効率性は重視するものの、あくまで「公」と「民」は違い、民では果たし得ない「公」の役割と使命に改めて光を当てた北欧型のNPMに、私は今、強い関心を持ち注目しています。

本市がこれからも、地方自治のトップランナーとしての地位を不動のものにするためには、後進の挑戦者、チャレンジャーではなく、先駆けとしての自負と自覚のもとで、新しい時代を切り開く、地方自治の旗手、パイオニアとして私たちに課せられた使命を果たす覚悟です。

私はこの崇高な使命達成のため、英知と勇気をもって、新しい世界に果敢に挑戦していく決意を今、新たにしています。

視点1

市民の力、地域の力が発揮できるまち
地域づくり

自分を磨く機会と場の充実

高洲地区で、地域ニーズを踏まえながら、公民館複合施設の計画を進めます。
また、「うらやす市民大学」の開設に向け取り組むとともに、市民が主体的に学習できるEーラーニングシステムの構築を進めます。
●高洲地区公民館複合施設整備事業・・・4億2,132万円
●生涯学習支援システム構築事業・・・1,649万円

シニア世代が能力を発揮できる環境づくり

団塊の世代を中心としたシニア世代の方々の知識や経験を地域で活かせる環境づくりに取り組むため、モデル事業の検討を行います。
●シニア世代地域活動モデル事業・・・316万円

地域が主役となった主体的活動への支援

地域づくりの拠点となるよう、セレナヴィータ新浦安自治会集会所の建設とラディアンコースト新浦安自治会、碧浜自治会集会所の設計を行います。
●セレナヴィータ新浦安自治会集会所新築事業・・・5,185万円
●ラディアンコースト新浦安自治会集会所新築事業【実施設計】320万円
●碧浜自治会集会所新築事業【実施設計】・・・320万円

地域の個性を活かしたまちづくり

仮称新中通り線とその周辺市街地の整備は、街づくり協議会で事業実現に向けた話し合いを進めるとともに、都市計画決定や土地区画整理事業の事業認可に向けた手続きを進めます。
浦安駅周辺の再整備は、「浦安駅周辺まちづくり取り組み方針」に基づき、駅前周辺の改善が図れるよう、関係権利者などと話し合いを進めます。
境川水辺空間整備事業は、江川橋から東水門までの護岸の修景整備を県と共同で進めるとともに、新橋から江川橋までの修景整備に向け、実施設計を行います。
また、地域の資源を活かし、本市独自の観光施策を推進するため、観光振興プランを策定します。
●仮称新中通り線周辺市街地整備事業・・・7,093万円
●浦安駅周辺再整備事業・・・1,575万円
●境川水辺空間整備事業・・・3,214万円
●観光振興プラン策定経費・・・623万円

視点4

日々の暮らしが豊かに過ごせるまち
地域づくり

うるおいと憩いの場づくり

総合公園の平成20年度全面開園に向けた整備を推進します。
元町・中町地域の街区公園を近隣の住民などとの調整を図りながら、市民に親しまれる身近な公園となるよう再整備に取り組みます。
海楽公園をより魅力ある公園にするため、市民参加による設計に取り組みます。
公園などでの緑化・美化に対する市民活動を支援するため、公園等里親制度を推進します。
三番瀬は、干潟観察舎などの整備に向けて検討するとともに、市民や三番瀬の保全に取り組む団体などと協力しながら、三番瀬の活用に向けたルールづくりに取り組みます。
●総合公園整備事業・・・3億円
●身近な公園づくり事業・・・6,466万円
●海楽公園整備事業・・・840万円
●公園等里親制度支援事業・・・87万円

利便の高い暮らし

公共交通の充実に向け、新たな交通システム（LRT）の導入の可能性について検討します。
●LRT導入可能性検討経費・・・630万円

身近なところから取り組む環境対策

「もったいないプロジェクト」をさらに推進し、まちぐるみの環境保全活動を展開するとともに、市民や事業者などの省エネルギーの取り組みを支援し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出の抑制に取り組みます。
公共施設の温室効果ガスの削減対策として、民間のノウハウを活用するESCO（エスコ）事業の導入を図ります。
●もったいないプロジェクト事業・・・805万円

視点2

未来を担う浦安っ子を育むまち
地域づくり

身近な地域での子育て支援

子育ての負担や育児の不安解消、子育てに対する支援の充実を図るため、新町地域で「つどいの広場」を実施します。
子育て力の向上を図るため、子育て支援の知識や技能習得、「子育て支援ケアプラン制度」を担う子育てケアマネジャーの養成を目的とした子育て・家族支援者養成講座（2・3級）を開催します。
また、こども部に発達支援室とこども発達センターを新設し、子どもの発達面での専門的な相談や療育の充実を図ります。
●つどいの広場等整備事業・・・1,110万円
●子育て・家族支援者養成事業・・・874万円

多様な保育サービスの充実

一時保育や地域子育て支援センター事業が行えるよう、弁天保育園の増設に取り組みます。
●弁天保育園増設整備事業・・・448万円

一人ひとりの個性が輝く教育の推進

幼児教育の充実や低年齢からの保育ニーズに対応するため、6月から青葉・堀江・入船南幼稚園の3園で3歳児保育を実施します。
若草・舞浜・美浜北幼稚園で実施している預かり保育の定員を各園50人に増やします。
高洲地区の私立幼稚園の整備を促進し、新町地域の幼稚園需要の増加に対応します。
引き続き、少人数教育を推進するとともに、障がいのある幼児・児童・生徒について、「まなびサポート事業」を充実させるとともに、特別支援教育の推進に努めます。
●幼稚園臨時教員等経費・・・1億615万円
●預かり保育教員経費・・・2,129万円
●少人数教育推進教員経費・・・1億9,620万円
●まなびサポート事業・・・2,224万円

学校施設などの教育環境の充実

当代島・北栄地区の児童の増加による教室不足に対応するため、北部小学校校舎の増築に取り組みます。また、富岡小学校は、教室不足の対応策の検討を進めます。
幼稚園の園庭の芝生化は、若草・入船南幼稚園の2園で実施します。
東野学校給食センターの老朽化に伴い、千鳥学校給食センター第3調理場の建設に向け検討を進めます。
●北部小学校校舎増築事業・・・2億4,098万円
●富岡小学校教室不足対策検討経費・・・2,960万円
●幼稚園園庭芝生化整備事業・・・1,939万円
●千鳥学校給食センター第3調理場建設事業・・・777万円

行財政改革の主な取り組み

平成18年度に改訂した浦安市第2次行政改革推進計画を、本市の集中改革プランとして位置付け、行政の役割を見極めつつ、市民と協働した効率的・効果的な行政運営に取り組みます。
入札制度の改善は、一般競争入札の対象を工事費1億5,000万円以上から1,000万円以上に拡大します。また、市が発注する工事や業務委託などの入札や契約の透明性を高め公正な競争を促進するために、外部委員による入札監視委員会を設置します。
給食費や保育料、奨学資金貸付金などの市の債権の適正な管理や収納を図るため、東京弁護士会と連携し、法的整理を視野に入れながら取り組みます。
市が現在保有する公共施設は、今後、大規模な改修工事がほぼ同時期に集中し、大きな財政

負担が予想されることから、建物の長寿命化や財政負担の平準化を図るため、公共施設長期保全計画の策定に取り組むとともに、公共施設修繕基金を創設します。
経費削減と情報セキュリティ対策の向上を図るため、市原市と汎用コンピュータの共同利用を行います。
市役所庁舎の建設は、PFI方式を視野に入れた事業手法の検討と市民ワークショップなどを行いながら、事業実施に向けたモデルプランの作成に取り組みます。
第2期基本計画の策定は、現在、公募市民を主体とした市民会議による計画づくりを進めています。本年度、市民会議からの提言を最大限に尊重しながら、第2期基本計画の策定に取り組みます。

●入札監視委員会運営費・・・45万円
●市債権未納対策経費・・・111万円
●公共施設長期保存計画策定事業・・・1,260万円
●汎用コンピューター共同利用事業・・・2,335万円
●庁舎等建設事業・・・5,792万円
●基本計画策定事業・・・4,748万円

視点3

元気・健康で暮らせるまち
地域づくり

一人ひとりの健康づくり

運動公園内に、サッカーやラグビーなどにも利用できる陸上競技場や本格的な野球場の整備に向け、各施設の基本計画などに取り組みます。
明海少年サッカー場は、フィールドの人工芝生化や駐車場などの整備を進めます。
高洲中央公園テニスコートに夜間照明を設置します。
●運動公園整備事業・・・3,940万円
●明海少年サッカー場整備事業・・・2億4,066万円
●高洲中央公園テニスコート夜間照明設置経費・・・3,969万円

高齢者や障がいのある人の社会参加を促進する環境づくり

高齢者の生きがいづくりと交流や活動の拠点として、東野地区に、老人福祉センターの建設を進めるための設計を行います。
花づくりを通して高齢者や障がいのある人の生きがい・健康づくりを促します。
障がいのある人の就労を支援するため、東野地区に障がい者就労支援センターの設置を進めるとともに、引き続き、千鳥地区に障がい者等就労支援施設の整備に取り組みます。
心身障がい者の社会復帰や社会参加を促進するため、新たに小規模福祉作業所を運営する民間団体を支援します。
●「花いっぱい」みんなで育む健康づくり事業・・・898万円
●障がい者等就労支援事業・・・315万円
●小規模福祉作業所運営費補助金・・・3,192万円

視点5

暮らしを支える安全・安心なまち
地域づくり

災害に強く安全なまちづくりの推進

市民を災害から守るため、災害対策の機能強化を目指した防災条例を制定します。
木造住宅の耐震診断補助の拡充を図り、分譲集合住宅に対する耐震診断補助制度を創設します。
5つの小学校と2つの中学校の体育館の耐震改修を実施します。
美浜地区での雨水排水機能の向上を図るため、雨水一時貯留施設を美浜南小学校校庭に設置します。
県が旧江戸川下流部で進めている高潮対策事業は、上流部の護岸改修促進を県に働きかけるとともに、整備が完了した舞浜地先の緩傾斜護岸は、この春開放し、今後、修景に関して皆さんの声を聴きながら整備に取り組みます。
●分譲マンション耐震診断補助金・・・2,204万円
●中学校体育館耐震事業・・・2,283万円
●冠水箇所緊急再整備事業・・・1億7,530万円
●河川海岸環境維持事業・・・517万円

消防・救急体制の強化

平成20年2月の開署を目標に、高機能消防指令システムを備えた消防本部・署庁舎の建設に引き続き取り組みます。
●消防庁舎整備事業・・・15億7,165万円
●高機能消防指令システム整備事業・・・1,625万円

地域医療体制の充実

地域の医療ニーズを適切に反映していけるよう、浦安市川市民病院再整備に係る検討委員会で、再整備に係る基本方針の検討を進めます。

地域防犯対策の推進

防犯活動の充実を図るため、警察官OBによる地域巡回の防犯診断や防犯相談を実施します。
スーパー防犯灯の増設や県の子ども緊急通報装置の設置にあわせた防犯カメラの設置など、犯罪の機会を減少させるための環境整備に取り組みます。
●移動防犯活動経費・・・1,505万円
●街頭緊急通報装置賃借料・・・932万円
●公共空間犯罪対策費・・・1,095万円

会計別予算額

会計区分		予算額	前年度比（率）
一般会計		533億7,000万円	0.7%
特別会計	国民健康保険	104億9,070万円	20.2%
	交通災害共済事業	3,120万円	1.0%
	公共下水道事業	35億8,060万円	2.9%
	老人保健	46億6,460万円	1.8%
	墓地公園事業	2億3,120万円	△58.3%
	介護保険	48億6,410万円	5.3%
	保険事業勘定	37億2,760万円	8.0%
	介護サービス事業勘定	11億3,650万円	△2.6%
小計		238億6,240万円	8.5%
総額		772億3,240万円	3.0%

平成19年度の当初予算規模は、一般会計が533億7,000万円で、前年度当初予算と比べて0.7パーセントの増加になっています。また、特別会計の予算規模は、238億6,240万円で、前年度と比べて8.5パーセントの増加になっています。国民健康保険特別会計は20.2パーセントの増加ですが、墓地公園事業は58.3パーセント、介護保険特別会計内の介護サービス事業勘定は2.6パーセントの減少になっています。

一般会計と特別会計を合わせた総額は、772億3,240万円で、前年度と比べて3.0パーセントの増加になっています。

当初予算の概要

